

---

# やさしい天使の作り方

久羽 沖

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

やさしい天使の作り方

### 【Nコード】

N3876M

### 【作者名】

久羽 沖

### 【あらすじ】

天使は意外とたくさんいる。

僕には足がない。

生まれた時からないんだ。

どうして？って。

神様がくれなかったからだよ。

君は不幸になりなさいってね。

僕は10歳になった。

僕がもらった不幸は足がない事だけじゃない。

どうやら命も他の人より少なくしか貰えなかったようだ。

そして、どうやら今日で終わるようだ。

僕はとても不幸だ。

みんながそう教えてくれる。

僕はとても、とても不幸なんだ。

今、僕は祈っている。

早く時間が過ぎてくれ、と。

一刻も早く死んでしまいたいのだ。

お母さんは僕の手を握っている。

お父さんのしかめっ面は、いつもの事だね。  
学校の先生は泣いてる。

僕はね、友達が多いんだよ。  
ほら、歌が聞こえる。

病院だからさあ、静かにして欲しいんだけどね。  
でも僕の好きな歌だから許しちゃおう。

みんなが教えてくれるんだ。

僕は不幸だ、ってね。

こんなにも幸せなのにね。

お母さんと、お父さんと、先生と、みんなと、  
沢山、写真を撮ったんだ。

時間よ止まれ、って写真を撮ったんだ。

だけどさ、今は止まって欲しくないんだ。

みんな悲しそうだから。

だからさ、早く時間が過ぎて欲しいんだよ。

あつ、写真を一枚持って行っていていいかな。

とても、お気に入りなのやっなんだ。

僕が真ん中に映っててさ、お母さんと、お父さんが僕の両側から肩  
に手を置いてさ、先生やみんなと手を繋いでる写真なんだけどね。

なんだか、僕の肩から羽が生えてるみたいでさ。恥ずかしいけどと  
ても好きなんだ。

足はないけどさ、みんなが羽になってくれてるから、どこにでも行  
けると思ったよ。

そうだ、神様。

みんなにも羽をあげてよ。

みんなきつと似合うから。

僕の足と命の分、余裕があるでしょ。

みんな天使みたいに優しいからさ、とっても似合うと思うんだ。  
約束だよ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3876m/>

---

やさしい天使の作り方

2011年1月27日09時27分発行